

わが家の防災メモ

避難場所のメモ 災害別にどこに避難すればいいのかをメモしておきましょう。

	 指定緊急避難場所	 指定避難所
洪水のとき		
土砂災害のとき		
地震のとき		

家族のメモ 家族のデータを記入しておきましょう。

家族の名前	生年月日	血液型	持病・常用薬 アレルギーなど	緊急連絡先	電話(勤務先/学校)
	M-T-S-H-R 年 月 日	Rh(+-) 型			
	M-T-S-H-R 年 月 日	Rh(+-) 型			
	M-T-S-H-R 年 月 日	Rh(+-) 型			
	M-T-S-H-R 年 月 日	Rh(+-) 型			
	M-T-S-H-R 年 月 日	Rh(+-) 型			

緊急連絡先 (市外局番 01634)

- 警察 110番

枝幸警察署 中頓別駐在所 6-1040

枝幸警察署 小頓別駐在所 7-8051
- 医療機関

中頓別町国民健康保険病院 6-1131

中頓別町立歯科診療所 6-1257
- 火事・救急車 119番

南宗谷消防組合 中頓別支署 6-2119
- 中頓別町役場 6-1111

0120-06-0140
- 北海道電力 浜頓別ネットワークセンター
(停電、電柱・電線などの設備に関する問合せ) 0120-06-0140

災害用伝言サービス

災害用伝言ダイヤル 171

電話を利用する声の伝言板です。

171 にダイヤルするとガイダンスが流れます

録音の場合 1 を押す 再生の場合 2 を押す

「被災者」は自分の電話番号を、
「被災者以外」は被災者の電話番号を
市外局番からダイヤルしてください

1 伝言を録音 ※30秒以内 1 伝言を再生

9 終了 8 もう1度聞く

※固定電話や携帯電話・PHS・IP電話が利用可能です 9 別の伝言を聞く

携帯電話各社の災害用伝言版

携帯電話などを利用して安否を登録・確認が可能です。地震や風水害などで被災地との連絡が困難になった場合に災害用伝言版が開設されます。

各社公式サイトトップ画面「災害用伝言版」を選択

伝言を残す(登録する場合、登録を選択) 伝言を読む(確認する場合、確認を選択)

現在の状態を「無事です」などの選択肢から選び、任意で100文字以内の伝言を入力する

安否確認したい方の携帯電話の番号を入力して検索する

登録を選択

中頓別町 2021年保存版

災害ハザードマップ

この災害ハザードマップは頓別川・兵知安川・平賀内川・知駒内川が、大雨によって氾濫した場合の浸水が予想される範囲と深さ、ならびに各地区の避難場所を示したものです。

水害のおそれがある時には、町防災無線等から、避難に関する情報が出されますので、すみやかに避難してください。

また、「危険」と感じたら、早めに自主的に避難してください。

なお、雨の降り方や土地の状態によっては、このマップで示された区域以外でも浸水することがありますので注意してください。

「いざ」という時に備え、あなたの家から避難場所までの経路と家族の連絡先などを書き込んで使いやすい場所に保管しておきましょう。

中頓別町

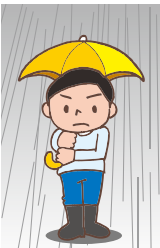
〒098-5595 枝幸郡中頓別町字中頓別172-6 ☎01634-6-1111
<https://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>



大雨について知っておきたいこと

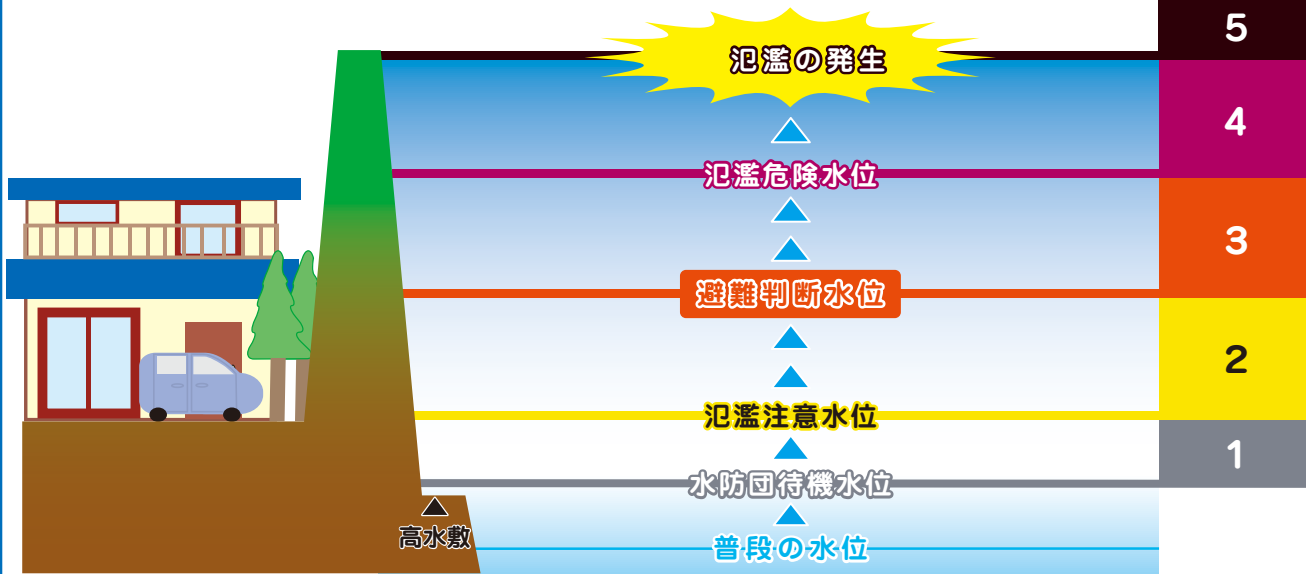
雨に関する用語や情報の意味を理解しよう

気象災害から身を守るため、危険度の高まりに応じて注意報・警報・特別警報が段階的に発表されます。また、災害の切迫度に応じて避難情報等が**5段階の警戒レベル**で発表されます。これらの情報がどのような意味なのかを日頃から確認し、いざ発表されたときに速やかに対応できるように心がけましょう。

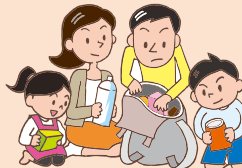
雨の強さと降り方					
1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
降り方のイメージ					
	ザーザーと降る雨	どしゃ降りの雨	バケツをひっくり返したような雨	滝のように降る雨	息苦しくなるような圧迫感がある雨
浸水害・洪水害の発生状況	この程度の雨でも長く続くと災害が発生するおそれがあるため注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれる	下水管から雨水があふれる	マンホールから水が噴出する	大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要
土砂災害の発生状況		小規模のがけ崩れが始まる	がけ崩れ、地すべりが起きやすい	土石流が起こりやすい	

洪水予報

北海道は避難の目安となる避難判断水位を定め、各河川の水位がこれに到達したときはその旨を住民へ周知します。水位の情報や洪水予報は、報道機関のほか、国土交通省「川の防災情報」のホームページからも閲覧することができます。



気象庁が発表する情報 気象庁は、災害が発生するおそれがあると予想したときは、警報や注意報を発表して災害に対する警戒や注意を呼びかけます。

気象庁が発表する情報			住 民 の 行 動		
数日前から… 雨が強くなると… 大雨が降り続けると… さらに激しい大雨が続くと…	土砂災害 発生のおそれ	浸水害 発生のおそれ	洪水害 発生のおそれ	注 意 気象情報に	テレビ・ラジオ・インターネット等で最新の防災気象情報を確認し、災害への心構えを高めてください。 
	「気象庁では、大雨に関する（気象）情報を出して警戒を呼びかけています」				
	大雨注意報	大雨注意報	洪水注意報	早 め 災害に備え	避難に備え、災害ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。 
	大雨警報（土砂災害）	大雨警報（浸水害）	洪水警報	注 意 避難情報に	速やかに避難場所へ避難しましょう。避難場所までの移動がかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。 
	土砂災害警戒情報	記録的短時間大雨情報		行 動 直ちに身を守る	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。 
	大雨特別警報（土砂災害）	大雨特別警報（浸水害）			

※「警戒レベル」に関しては6ページを参照してください。

大雨・強風に備えよう

大雨に対しどのような対策をとれば良いかを知っておくと、いざというときに落ち着いて行動できます。大雨に関する情報は10日先まで入手することができるため、次の対策を図るよう心がけましょう。

避難場所や避難経路を確認しましょう

日頃から災害ハザードマップを見ておきましょう



防災グッズを点検しましょう

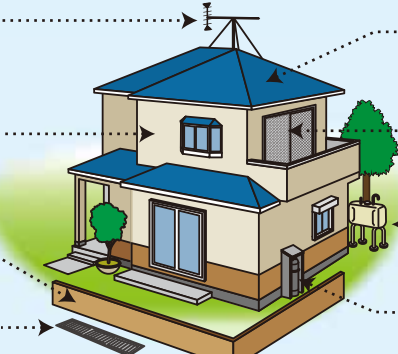
非常持出品、非常備蓄品を定期的に確認しましょう

- 大雨の影響で断水する可能性があります。断水に備え、食料・飲料水の用意や、浴槽に水をためるなどの対策を心がけましょう

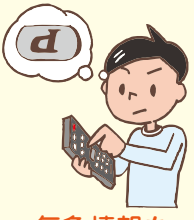


家の点検・整備をしましょう

- テレビアンテナは………しっかりと固定しましょう
- 壁に亀裂や腐食、浮いた部分がないかを確認しましょう
- 塀のひび割れや傾きを………確認しましょう
- 排水溝の水はけをよくしましょう
- トタンのめくれを確認しましょう
- 網戸が強風で飛ばないようにしましょう
- 灯油タンクをしっかりと固定しましょう
- プロパンガスのボンベをしっかりと固定しましょう



危険が近づいてきたら…



気象情報を確認しましょう



強風時は窓ガラスにガムテープを貼りましょう



外出は控えましょう



植木などは室内に入れましょう



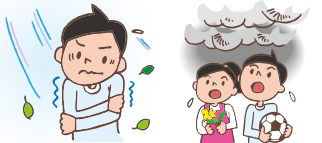
大雨のときは貴重品を2階に置きましょう

竜巻注意情報が発表されたら…

竜巻注意情報が発表されたときや、下記のような竜巻のきざしを発見したら、身を守る行動をとりましょう。

竜巻注意情報の発表

竜巻のきざしを発見



急に冷たい風が 真っ黒い雲が 吹いてきた 近づいてきた



雷の音が 聞こえてきた

屋内にいるとき

- ・窓やカーテンを閉めて窓から離れる。ガラス窓の下や周囲は大変危険。
- ・家の1階の窓のない部屋に移動する。
- ・丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。



- ・頑丈な建物へ避難する。避難できないときは物陰に入って身を小さくする。
- ・シャッターが開いていたら閉める。
- ・物置や車庫・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険！



屋外にいるとき

避難の判断について知っておきたいこと

適切な避難行動を確認しよう

洪水(河川の氾濫)によって市街地や建物、畑が水で覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます。

一般の建物では、浸水深が0.5m未満の場合は床下浸水、0.5m以上になると床上浸水するおそれがあり、

3m以上では2階も浸水するおそれがあるため、2階への避難ができません。

洪水の正しい避難行動は、「浸水が始まる前に避難する」ことです。浸水の中の避難は大変危険です。

13～28ページの災害ハザードマップで自宅や職場などの浸水等の状況を確認し、下の図でいざというときの避難行動を普段から確認しておきましょう。

あなたがとるべき避難行動は？

スタート

P13～28の災害ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※災害ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

色塗られていなくても、周り比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

浸水の危険があっても、浸水する深さよりも高いところであって、水・食料などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、町が指定している避難場所に避難しましょう

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、町が指定している避難場所に避難しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう
感染症が心配される中でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

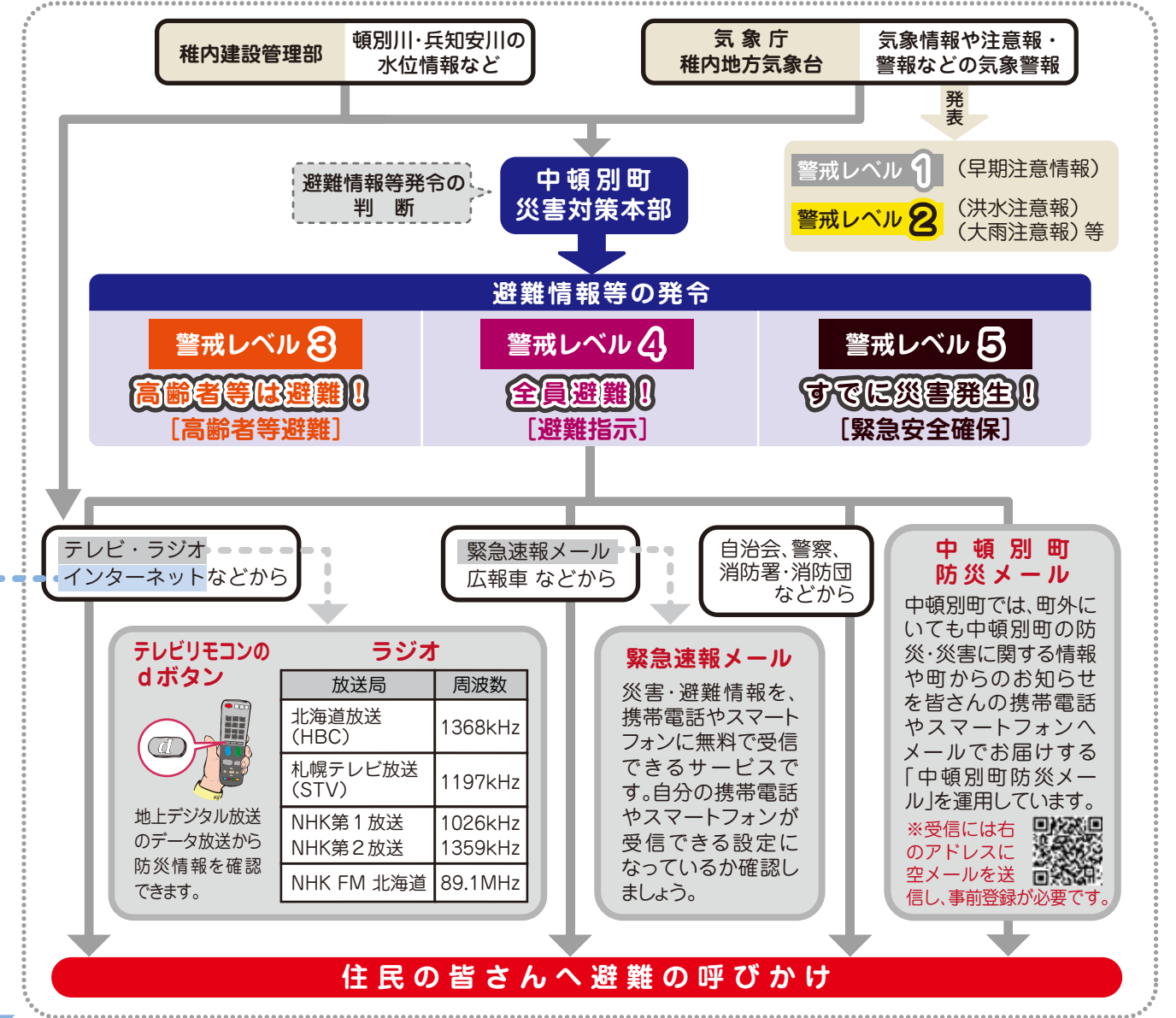
知っておくべき避難の5つのポイント

- 1 避難とは「難」を「避」けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 2 避難先は、町の避難場所だけではなく、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 3 マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら携帯してください。
- 4 町が指定する避難場所が変更されている可能性があります。災害時には町のホームページ等で確認してください。
- 5 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。



水害時の情報の流れと避難の呼びかけ

洪水等による被害の発生が予想されるときは、その状況に応じて、町から避難情報等が発令されます。これらの情報は、テレビやラジオ、インターネット、緊急速報メールや広報車などによって住民の皆さんに伝えられますので、町からの呼びかけに注意してください。



インターネットによる 防災情報 はこちらから

気象庁 https://www.jma.go.jp/ 	札幌管区気象台 https://www.jma-net.go.jp/sapporo/ 北海道全域の気象情報を発表しています。	レーダー・ナウキャスト (降水・雷・竜巻) https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/ レーダー観測などをもとに、降水、雷、竜巻の予報を提供しています。	降水短時間予報 https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/ 局地的に短時間で降る雨の予報を30分おきで6時間先まで提供しています。
川の防災情報 https://www.river.go.jp/ リアルタイム雨量・水位の情報を提供しています。水防警報、洪水予報やダム放流も通知します。	北海道防災情報 http://www.bousai-hokkaido.jp/ 北海道の防災に関する情報を発表しています。	北海道士砂災害警戒情報システム http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/ 土砂災害による被害の防止・軽減のための情報を発表しています。	中頓別町ホームページ http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/

警戒レベルに応じたとるべき行動

警戒レベル	住民の皆さんのとるべき行動
警戒レベル5 が発令されたら…	命の危険 直ちに安全確保! すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとみましょう。 最終的な危険回避行動 ●未避難者の緊急避難 ●屋内安全確保 (垂直避難) 避難完了
警戒レベル4 が発令されたら…	「緊急安全確保」 危険な場所から全員避難 速やかに避難し、身の安全を確保しましょう。避難場所までの移動がかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。 避難情報の伝達 電話 / FAX テレビラジオ エリアメール 防災行政無線 緊急速報メール 広報車 消防車 サイレン 避難開始 ●避難の準備 (要配慮者以外) ●住民の自主避難の実施
警戒レベル3 が発令されたら…	「避難指示」 危険な場所から高齢者等は避難 避難に時間を要する人 (高齢者、障がいのある方、乳幼児など) とその支援者は、避難を開始しましょう。その他の人は、避難情報を確認し、避難の準備を整えましょう。早めの避難を心がけてください。 「高齢者等避難」 要配慮者避難開始 ●外出の中止 ●家族の動向確認 ●避難の準備 (要配慮者) ●氾濫に関する情報に注意
警戒レベル2 が発表されたら…	自らの避難行動の確認 最新情報に注意し、警戒してください。避難準備を始め、いつでも避難できるようにしてください。避難に備え、災害ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難場所等を確認しましょう。
警戒レベル1 が発表されたら…	災害への心構えを高める テレビ、ラジオ、インターネット、携帯メール等で大雨や河川の状況を確認し、災害への心構えを高めてください。
普段から…	●防災訓練への参加 ●防災グッズの準備 ●自宅保全 ●災害ハザードマップ等による避難場所や避難経路の確認 ●テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認 ●隣近所との相互協力関係の醸成 ●家族との連絡方法確認

注 意

【警戒レベル5】ではすでに災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

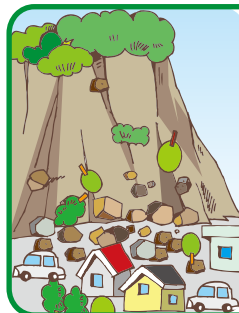
【警戒レベル3】や【警戒レベル4】の段階で地域の皆さんで声を掛け合って、安全・確実に避難しましょう。

土砂災害について知っておきたいこと

いろいろな土砂災害

土砂災害の多くは、地震や大雨が原因で起こります。

1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。



がけ崩れ

雨や雪解け水、地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象



土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより、水と一緒に激しく流れ下る現象



地すべり

雨や雪解け水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象

！こんな前ぶれ現象に注意！

下記のような前ぶれ現象を察知した場合は、土砂災害が発生する可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、役場・消防・警察へ通報してください。

小石がパラパラ落ちてくる



がけから水がわき出る



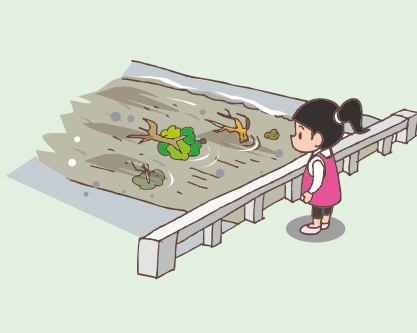
斜面にひび割れができる



山鳴りがする



川の流れが濁り、流木が混ざり始める



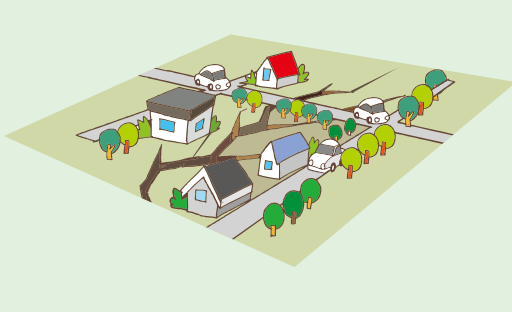
雨が降り続けているのに、水位が下がる



がけの斜面から水が噴き出す



地面にひび割れができる



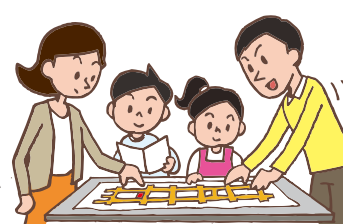
沢や井戸の水が濁る



土砂災害から身を守るために

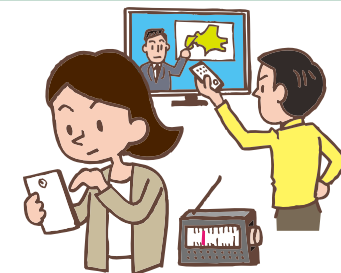
まわりに「土砂災害（特別）警戒区域」があるか確認しましょう

日頃から自分の住んでいる家のまわりや避難場所までの経路に土砂災害（特別）警戒区域があるか、災害ハザードマップで確認しましょう。



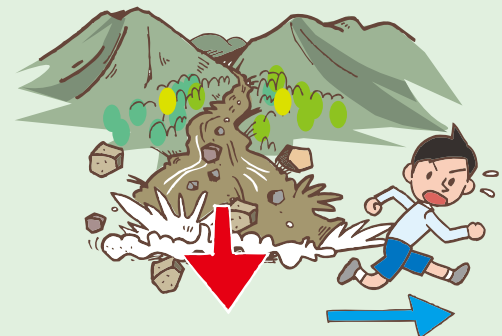
雨が降り出したら、「土砂災害警戒情報」に注意しましょう

雨が降り出し、土砂災害警戒情報が発表された場合は、避難の準備をし、町の避難に関する情報に従い、速やかに避難しましょう。



！避難するときの注意点

- 避難場所へ移動する**立ち退き避難**が基本です。
- 避難場所や安全な場所へ避難する際、他の土砂災害のおそれのある箇所の通過は避けましょう。
- 土石流に関しては、溪流に対して**直角方向**にできるだけ溪流から離れましょう。
- 屋外での移動に危険が伴う状況下では、立ち退き避難がかえって危険であるため、このような場合は、**建物の2階などのより高い階にある山の反対側の部屋に待機**しましょう。



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

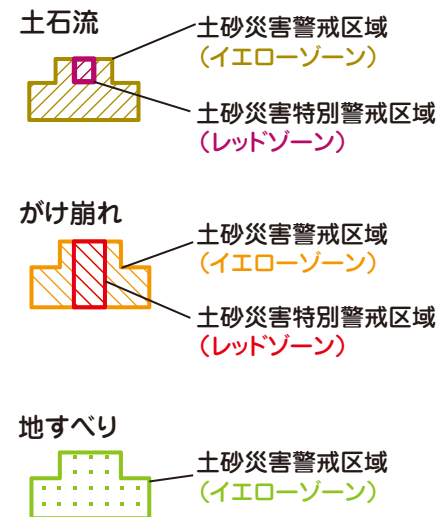
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とは

土砂災害警戒区域とは、法律に基づき、北海道が土砂災害危険箇所について現地調査を行い、土砂災害が発生した場合に「住民の生命・身体に危害が生じるおそれがある」土地を指定した区域で、避難体制の整備や土地利用制限などの規制がかけられます。イエローゾーンと呼ばれることもあります。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）とは

土砂災害特別警戒区域とは、警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物が損壊して住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域で、一定の土地開発が制限され、居室を有する建築物の構造が規制されます。土砂災害警戒区域の中でも特に危険な区域で、レッドゾーンと呼ばれることもあります。

災害ハザードマップでの表記の仕方



非常持出品・非常備蓄品を備えよう

非常持出品

できるだけ身軽に避難できるようにするため、非常持出品は避難に必要な物品や貴重品に限りましょう。
非常持出品は、リュックサック等に入れて、避難するときの通り道、玄関、寝室等に置いておきましょう。

ラジオ・照明器具

携帯ラジオ、懐中電灯、予備の電池、ライター・マッチなど

非常用食品

缶詰・カンパンなど
火を通さずに食べられるもの、水など

貴重品

現金（小銭も準備）、通帳、免許証、健康保険証のコピー、携帯電話など

衣類、救急・衛生用品

下着、上着、タオル、軍手、雨具、マスク、消毒液、体温計、ばんそうこう、ウェットティッシュなど

各自必要なもの

メガネ、コンタクトレンズ、補聴器、入れ歯、普段飲んでいる薬、お薬手帳のコピーなど

移動に必要なもの

災害ハザードマップ、リュックサック、運動靴など

非常備蓄品

災害発生直後、飲料水や食料等は、入手することが困難な状況が想定されます。またライフラインが途絶えた場合を想定し、数日間（最低3日間）を生活できるように各家庭で備えておきましょう。

飲料水・食料品

カップ麺・レトルトご飯・缶詰・レトルト食品・冷凍食品など
水は1人1日3ℓが目安

調理器具

カセットコンロ、ガスボンベ、やかん、なべ、おたま など

洗面用具

水がなくても洗える
ドライシャンプーなど
もあるとよい

生活用水

断水になった時のために、風呂やポリ容器に貯水しておくのもよい

寒さ・暑さ対策

身体を温める：ポータブルストーブ（電池式・ガスボンベ式）、使い捨てカイロ、サバイバルシート、防寒着、手袋、帽子、毛布など
身体を冷やす：冷却シート・瞬間冷却材など

長期保存できる日用品や生活必需品

ティッシュペーパー、トイレットペーパー、ラップ、予備電池、予備ガスボンベなど、災害時に入手困難になる可能性があるため、長期保存できるものは多めに備えておく

！ 備えるときの注意点

備蓄した食品のうっかり賞味期限切れを防ぐために…
ローリングストック法 のすすめ

保存用の食品を備蓄しておくことは大切なことですが、いつの間にか賞味期限が切れていて破棄したり、賞味期限が迫ってあわてて保存食を食べなければいけないということに陥ったりします。そこで、**日常の中に食料備蓄を取り込むローリングストック法**という考え方があります。ローリングストック法は、**日常的に食材・加工品を少し多めに購入し、賞味期限が近いものから消費します。そして、消費した分だけを買ひ足すことで、常に一定量の備蓄をしておく**という方法です。この方法のメリットは、備蓄量を一定に保ちながら消費と購入を繰り返すので、備蓄品の鮮度が保たれ、いざという時でも日常生活に近い食生活を送ることができることです。食品の備蓄の目安は、最低でも家族人数分×3日分です。飲料水の備蓄も同様で、定期的に料理などに使うことで循環させていきます。



家族構成に合わせて準備しましょう

高齢者や身体の不自由な方がいる家庭

介護・看護用品、紙おむつ、服用薬など身体状況に合わせて準備しましょう。

赤ちゃんがいる家庭

粉ミルク、ほ乳びん、おむつやミネラルウォーターなど。お子さんの状況によっては離乳食やスプーンも準備。

！ 停電に備えましょう

夜間、周りが見えない！

懐中電灯（LEDライト）、ランタンなどを必ず**乾電池と一緒に**備えましょう。ろうそくは火災を招くおそれがあるため、使用は控えましょう。

家電が使えない！

家電製品の使えない状況を想定して調理手段を備えましょう。（P9「非常備蓄品」参照。）
また、テレビやパソコンが使えず情報収集ができなくなるため、**電池で動くラジオ**を備えましょう。

冷暖房器具が使えない！

冷暖房器具が使えない状態でも、**暖（涼）をとる手段**を備えましょう。（P9「非常備蓄品」参照）

携帯電話に充電できない！

乾電池式充電器（乾電池も一緒に準備）とモバイルバッテリーを備えておくことで安心です。

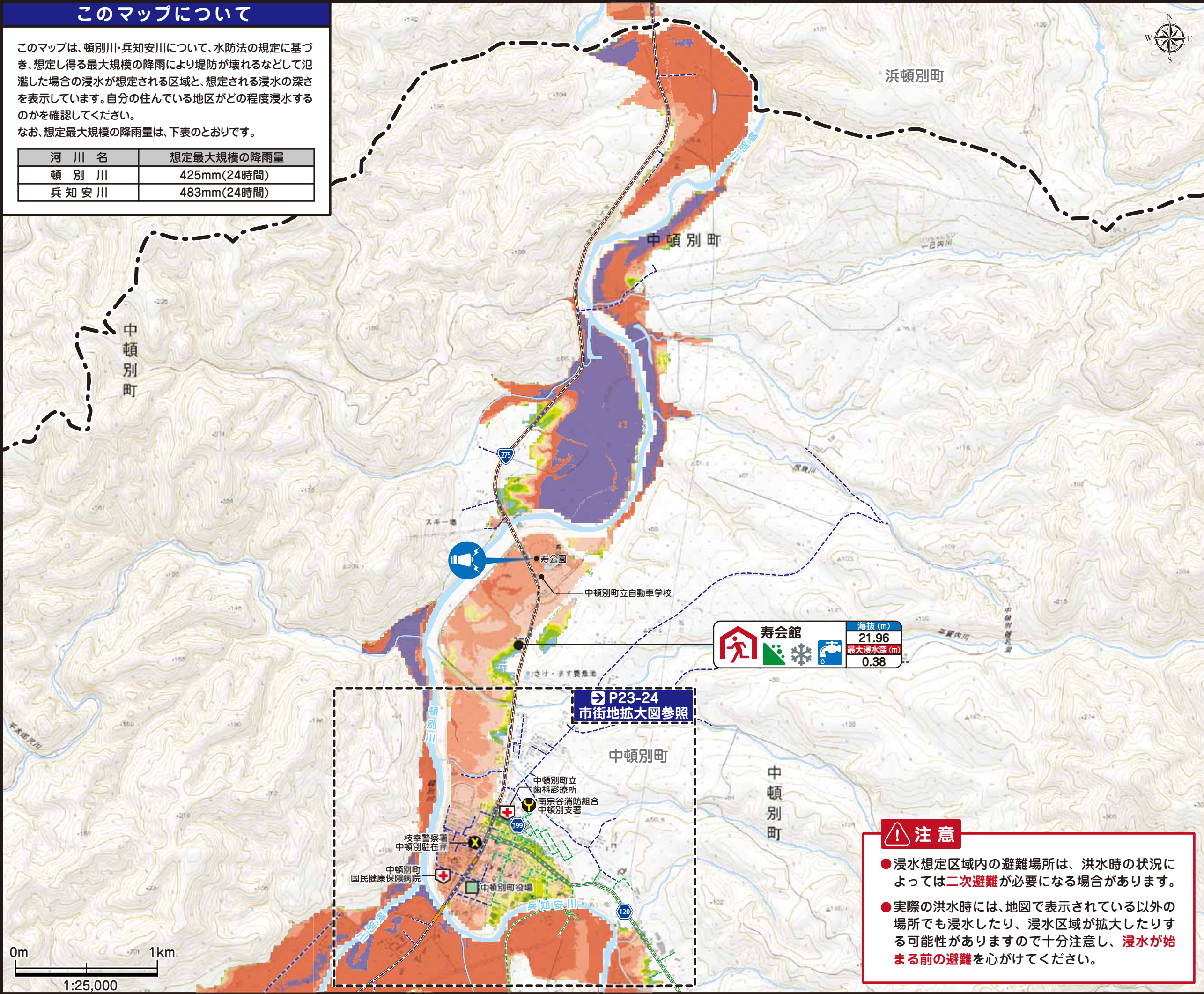
停電復旧時の火災を防ぐため、ブレーカーの電源を落とし、復旧後に電源を入れるようにしましょう。

断水した！

停電による給水ポンプの停止などによる断水に備えましょう。（**飲料水の備蓄**、常にお風呂に水をはっておく、給水された水を入れる**ポリ容器**や、水を使わない**簡易使い捨てトイレ**を備えておく）

物が買えない！売っていない！

停電が起きてからでは、店に人が殺到し、商品が不足するため欲しいものが買えません。また停電が復旧しても物流が途絶えているため、食料品や日用品がしばらく買えない可能性も高いです。災害時に役立つものや普段から必要不可欠なものを**事前に多めに備えておく**ことは非常に重要です。また、**ガソリンも普段から残量が1/3ほどになったら給油**するようにしておくことで安心です。



このマップについて

このマップは、頓別川・兵知安川について、水防法の規定に基づき、想定し得る最大規模の降雨により堤防が壊れるなどして氾濫した場合の浸水が想定される区域と、想定される浸水の深さを表示しています。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。

なお、想定最大規模の降雨量は、下表のとおりです。

河川名	想定最大規模の降雨量
頓別川	425mm(24時間)
兵知安川	483mm(24時間)

中頓別町
災害ハザードマップ①
【頓別川・兵知安川】

凡例

避難場所種別マーク



指定緊急避難場所
洪水等の災害から命を守るために住民が緊急的に避難する場所



指定避難所
災害の危険性があり、避難した住民が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により、自宅へ戻れなくなった住民が一時的に滞在することを目的とした施設



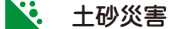
福祉避難所
障がい者などの要配慮者が安心して生活できる避難場所

災害対応種別マーク

避難場所がどの災害時に対応しているかを示しています



洪水



土砂災害



地震



雪害

給水所マーク



断水したときに水を配る場所

土砂災害(特別)警戒区域

がけ崩れ
(急傾斜地崩壊)



土石流



地すべり



その他の項目



警察



国道



消防



道道



役場



町界線



病院

中頓別町電気経路



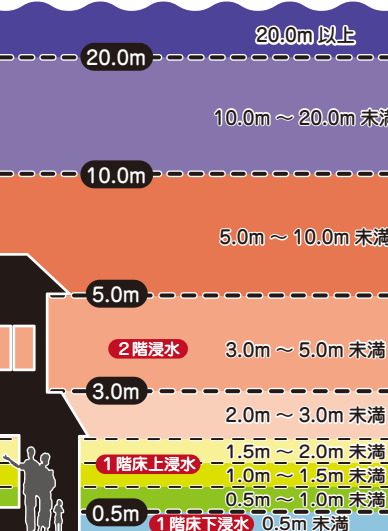
防災行政無線拡声局

中頓別F1

中頓別F2

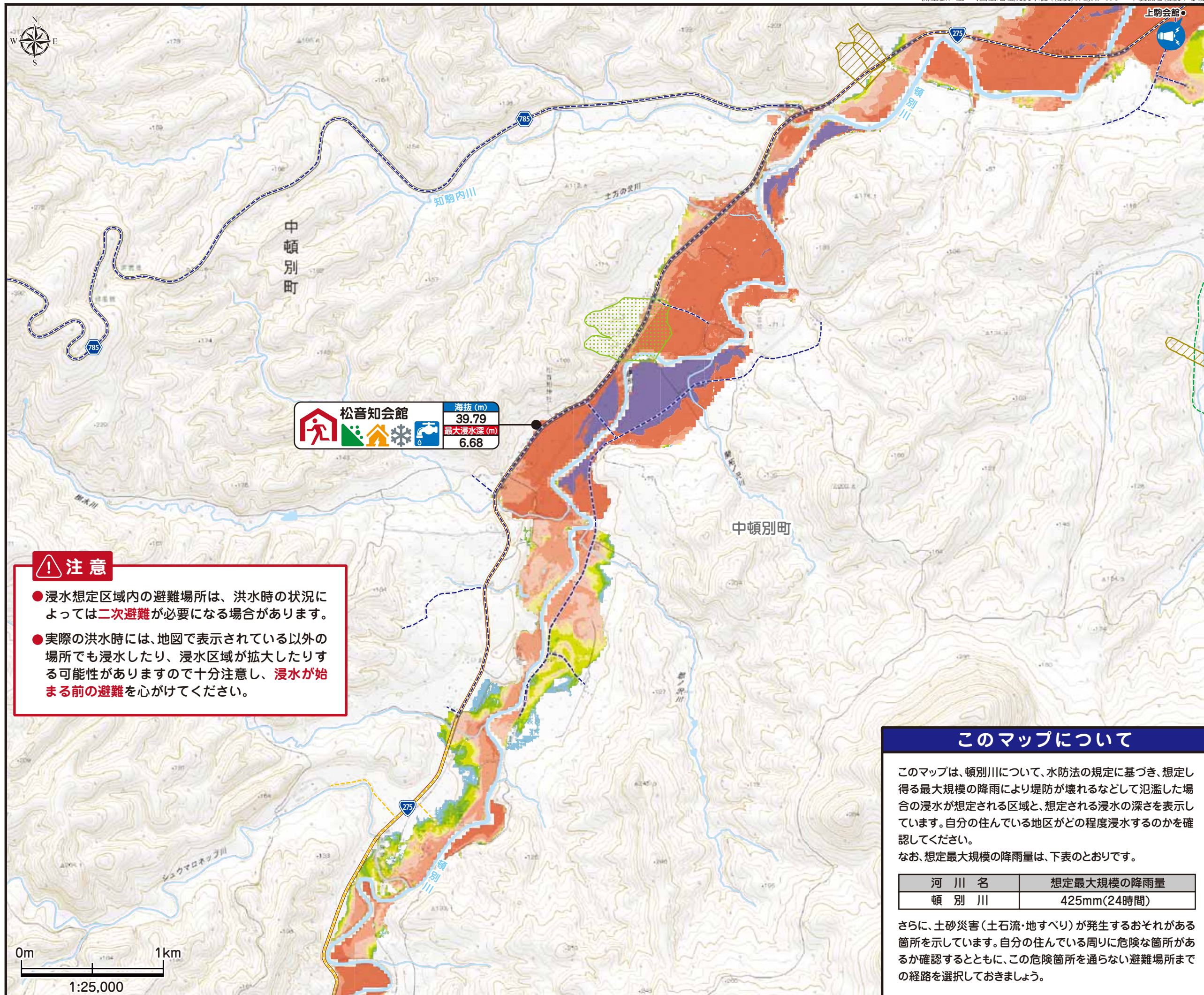
小頓別F1

浸水深の目安



注意

- 浸水想定区域内の避難場所は、洪水時の状況によっては二次避難が必要になる場合があります。
- 実際の洪水時には、地図で表示されている以外の場所でも浸水したり、浸水区域が拡大したりする可能性がありますので十分注意し、**浸水が始まる前の避難**を心がけてください。



中頓別町 災害ハザードマップ② 〔頓別川〕

凡 例

避難場所種別マーク	
	指定緊急避難場所 洪水等の災害から命を守るために住民が緊急的に避難する場所
	指定避難所 災害の危険性があり、避難した住民が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により、自宅へ戻れなくなった住民が一時的に滞在することを目的とした施設
	福祉避難所 障がい者などの要配慮者が安心して生活できる避難場所
災害対応種別マーク	
	洪水
	土砂災害
	地震
	雪害
給水所マーク	
	断水したときに水を配る場所
土砂災害(特別)警戒区域	
	がけ崩れ(急傾斜地崩壊)
	土石流
	地すべり
その他の項目	
	警察
	消防
	役場
	病院
	防災行政無線拡声局
	国道
	道道
	町界線
	中頓別町電気経路
	中頓別F1
	中頓別F2
	小頓別F1
浸水深の目安	
	20.0m以上
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	2.0m ~ 3.0m 未満
	1.5m ~ 2.0m 未満
	1.0m ~ 1.5m 未満
	0.5m ~ 1.0m 未満
	0.5m 未満

このマップについて

このマップは、頓別川について、水防法の規定に基づき、想定し得る最大規模の降雨により堤防が壊れるなどして氾濫した場合の浸水が想定される区域と、想定される浸水の深さを表示しています。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するかを確認してください。

なお、想定最大規模の降雨量は、下表のとおりです。

河 川 名	想定最大規模の降雨量
頓 別 川	425mm(24時間)

さらに、土砂災害(土石流・地すべり)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険な箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

-
- 浸水想定区域内の避難場所は、洪水時の状況によっては**二次避難**が必要になる場合があります。

● 実際の洪水時には、地図で表示されている以外の場所でも浸水したり、浸水区域が拡大したりする可能性がありますので十分注意し、**浸水が始まる前の避難**を心がけてください。

0m 1km
1:25,000

中頓別町
災害ハザードマップ③
【頓別川】

凡 例

避難場所種別マーク

**指定緊急避難場所**
洪水等の災害から命を守るために住民が緊急的に避難する場所

**指定避難所**
災害の危険性があり、避難した住民が、災害の危険性なくなるまで必要な期間滞在し、または災害により、自宅へ戻れなくなった住民が一時的に滞在することを目的とした施設

**福祉避難所**
障がい者などの要配慮者が安心して生活できる避難場所

災害対応種別マーク

避難場所がどの災害時に対応しているかを示しています

 洪水

 土砂災害

 地震

 雪害

給水所マーク

 断水したときに水を配る場所

土砂災害(特別)警戒区域

 がけ崩れ(急傾斜地崩壊) 特別警戒区域

 土石流 特別警戒区域

 地すべり 警戒区域

その他の項目

 警察

 消防

 役場

 病院

 防災行政無線拡声局

 国道

 道道

 町界線

中頓別町電気経路

 中頓別F1

 中頓別F2

 小頓別F1

浸水深の目安

 20.0m以上

 10.0m～20.0m 未満

 10.0m

 5.0m～10.0m 未満

 5.0m

 2階浸水 3.0m～5.0m 未満

 3.0m

 2.0m～3.0m 未満

 1階床上浸水 1.5m～2.0m 未満

 1.0m～1.5m 未満

 0.5m～1.0m 未満

 0.5m

 1階床下浸水 0.5m 未満

このマップについて

このマップは、頓別川について、水防法の規定に基づき、想定し得る最大規模の降雨により堤防が壊れるなどして氾濫した場合の浸水が想定される区域と、想定される浸水の深さを表示しています。

なお、想定最大規模の降雨量は、下表のとおりです。

河 川 名	想定最大規模の降雨量
頓 別 川	425mm(24時間)

さらに、土砂災害(土石流・地すべり)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険な箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

敏音知市街地

敏音知市街地拡大図

施設名	海拔(m)	最大浸水深(m)
敏音知コミュニティセンター	62.72	2.78
道の駅「ピンネシリ」	62.63	2.34

注意

- 浸水想定区域内の避難場所は、洪水時の状況によっては**二次避難**が必要になる場合があります。
- 実際の洪水時には、地図で表示されている以外の場所でも浸水したり、浸水区域が拡大したりする可能性がありますので十分注意し、**浸水が始まる前の避難**を心がけてください。

上頓別会館

海拔(m)
91.96
最大浸水深(m)
—

風水害

土砂災害

持出品・備蓄品

避難場所一覧表

索引図

災害ハザードマップ③
【頓別川】

マイタイムライン

わが家の防災メモ

17

このマップについて

このマップは、頓別川について、水防法の規定に基づき、想定し得る最大規模の降雨により堤防が壊れるなどして氾濫した場合の浸水が想定される区域と、想定される浸水の深さを表示しています。

なお、想定最大規模の降雨量は、下表のとおりです。

河川名	想定最大規模の降雨量
頓別川	425mm(24時間)

さらに、土砂災害(土石流・がけ崩れ)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険な箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

中頓別町 災害ハザードマップ④ 〔頓別川〕

凡 例

避難場所種別マーク

	指定緊急避難場所 洪水等の災害から命を守るために住民が緊急的に避難する場所
	指定避難所 災害の危険性があり、避難した住民が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により、自宅へ戻れなくなった住民が一時的に滞在することを目的とした施設
	福祉避難所 障がい者などの要配慮者が安心して生活できる避難場所

災害対応種別マーク

避難場所がどの災害時に対応しているかを示しています

	洪水		土砂災害
	地震		雪害

給水所マーク

	断水したときに水を配る場所
--	---------------

土砂災害(特別)警戒区域

	がけ崩れ(急傾斜地崩壊)警戒区域		特別警戒区域
	土石流警戒区域		特別警戒区域
	地すべり警戒区域		警戒区域

その他の項目

	警察		国道
	消防		道道
	役場		町界線
	病院		中頓別町電気経路
	防災行政無線拡声局		中頓別F1
			中頓別F2
			小頓別F1

浸水深の目安

	20.0m以上
	10.0m～20.0m未満
	10.0m
	5.0m～10.0m未満
	5.0m
	2階浸水
	3.0m～5.0m未満
	3.0m
	2.0m～3.0m未満
	1.5m～2.0m未満
	1階床上浸水
	1.0m～1.5m未満
	0.5m～1.0m未満
	0.5m
	1階床下浸水
	0.5m未満

小頓別市街地

小頓別市街地拡大図

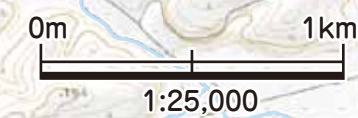
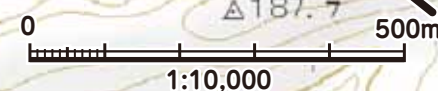
	上頓別会館	海拔(m)	91.96
	最大浸水深(m)		—

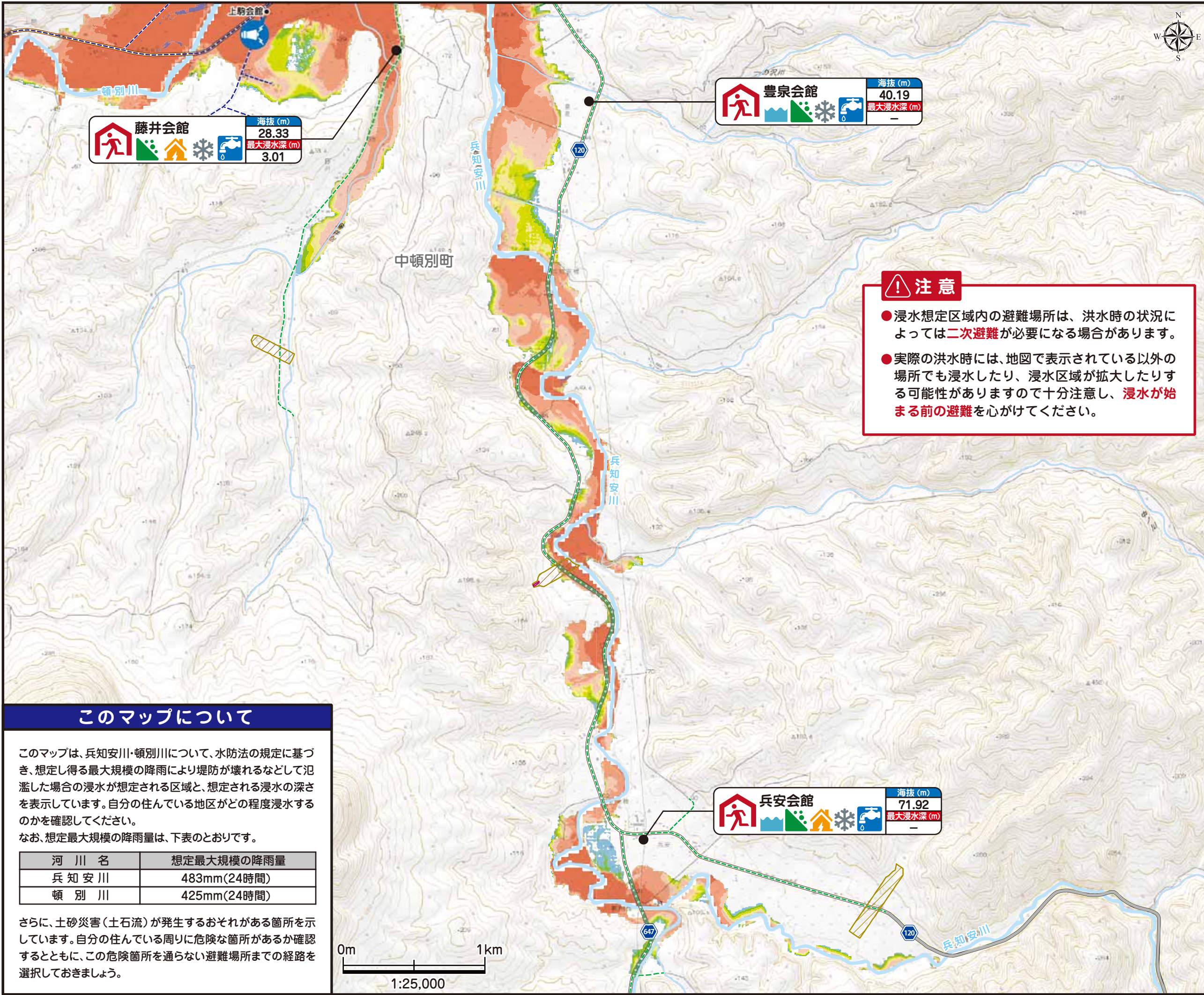
注意

- 浸水想定区域内の避難場所は、洪水時の状況によっては**二次避難**が必要になる場合があります。
- 実際の洪水時には、地図で表示されている以外の場所でも浸水したり、浸水区域が拡大したりする可能性がありますので十分注意し、**浸水が始まる前の避難**を心がけてください。

	小頓別多目的集会施設	海拔(m)	101.08
	最大浸水深(m)		—

	小頓別多目的集会施設広場	海拔(m)	101.19
	最大浸水深(m)		—





中頓別町 災害ハザードマップ⑤ 【兵知安川・頓別川】

凡 例

避難場所種別マーク

指定緊急避難場所
洪水等の災害から命を守るために住民が緊急的に避難する場所

指定避難所
災害の危険性があり、避難した住民が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により、自宅へ戻れなくなった住民が一時的に滞在することを目的とした施設

福祉避難所
障がい者などの要配慮者が安心して生活できる避難場所

災害対応種別マーク

避難場所がどの災害時に対応しているかを示しています

洪水	土砂災害
地震	雪害

給水所マーク

断水したときに水を配る場所

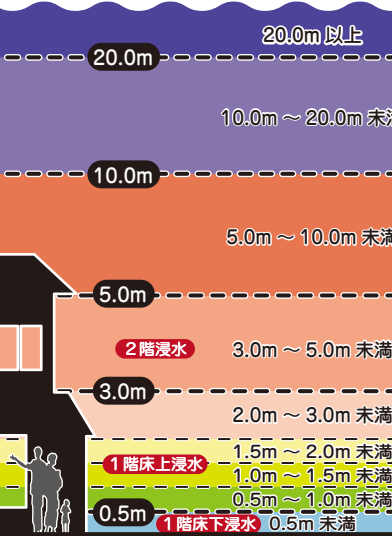
土砂災害(特別)警戒区域

がけ崩れ (急傾斜地崩壊)	特別警戒区域 警戒区域
土石流	特別警戒区域 警戒区域
地すべり	警戒区域

その他の項目

警察	国道
消防	道道
役場	町界線
病院	中頓別町電気経路
防災行政無線拡声局	中頓別F1 中頓別F2 小頓別F1

浸水深の目安



このマップについて

このマップは、兵知安川・頓別川について、水防法の規定に基づき、想定し得る最大規模の降雨により堤防が壊れるなどして氾濫した場合の浸水が想定される区域と、想定される浸水の深さを表示しています。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。

なお、想定最大規模の降雨量は、下表のとおりです。

河 川 名	想定最大規模の降雨量
兵 知 安 川	483mm(24時間)
頓 別 川	425mm(24時間)

さらに、土砂災害(土石流)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険な箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

注意

- 浸水想定区域内の避難場所は、洪水時の状況によっては**二次避難**が必要になる場合があります。
- 実際の洪水時には、地図で表示されている以外の場所でも浸水したり、浸水区域が拡大したりする可能性がありますので十分注意し、**浸水が始まる前の避難**を心がけてください。

注意

- 浸水想定区域内の避難場所は、洪水時の状況によっては**二次避難**が必要になる場合があります。
- 実際の洪水時には、地図で表示されている以外の場所でも浸水したり、浸水区域が拡大したりする可能性がありますので十分注意し、**浸水が始まる前の避難**を心がけてください。

このマップについて

このマップは、平賀内川で想定し得る最大規模の降雨による浸水が想定される区域と、想定される水深を簡便な手法で計算したものを表示しています。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するかを確認してください。

なお、想定最大規模の降雨量は、下表のとおりです。

河川名	想定最大規模の降雨量
平賀内川	100mm(1時間)

中頓別町
災害ハザードマップ⑦
【平賀内川】

凡例

避難場所種別マーク

- 指定緊急避難場所**
洪水等の災害から命を守るために住民が緊急に避難する場所
- 指定避難所**
災害の危険性があり、避難した住民が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により、自宅へ戻れなくなった住民が一時的に滞在することを目的とした施設
- 福祉避難所**
障がい者などの要配慮者が安心して生活できる避難場所

災害対応種別マーク

避難場所がどの災害時に対応しているかを示しています

- 洪水
- 土砂災害
- 地震
- 雪害

給水所マーク

断水したときに水を配る場所

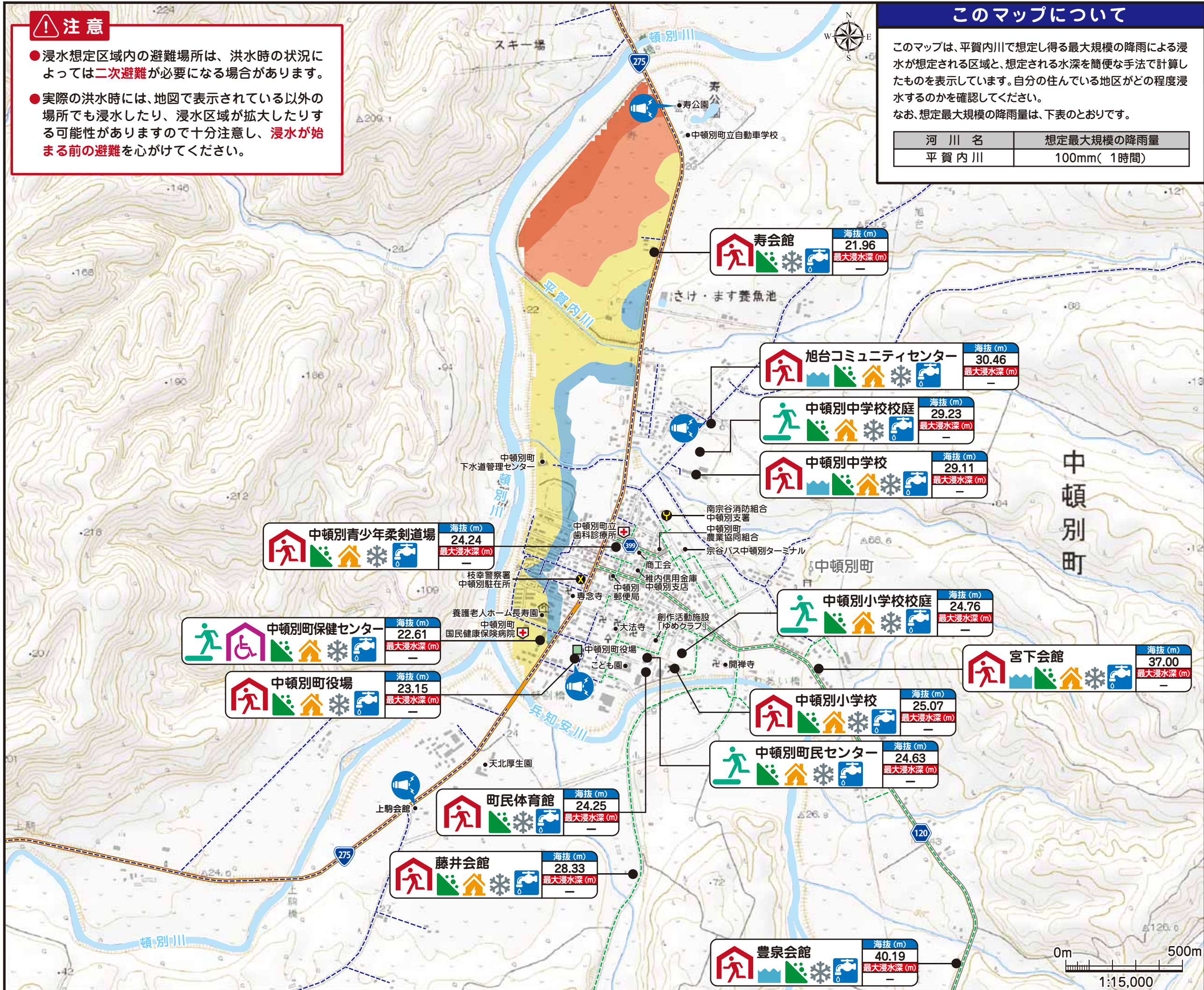
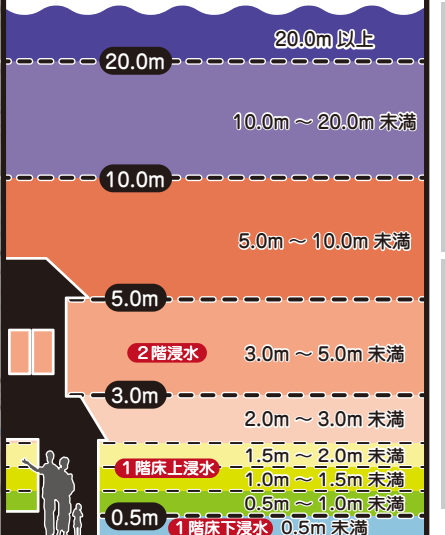
土砂災害(特別)警戒区域

- がけ崩れ(急傾斜地崩壊)** 特別警戒区域 警戒区域
- 土石流** 特別警戒区域 警戒区域
- 地すべり** 警戒区域

その他の項目

- 警察
- 消防
- 役場
- 病院
- 国道
- 道道
- 町界線
- 中頓別町電気経路
- 中頓別F1無線拡声局
- 中頓別F2無線拡声局
- 小頓別F1無線拡声局

浸水深の目安



このマップについて

このマップは、知駒内川で想定し得る最大規模の降雨による浸水が想定される区域と、想定される水深を簡便な手法で計算したものを表示しています。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。

なお、想定最大規模の降雨量は、下表のとおりです。

河川名	想定最大規模の降雨量
知駒内川	110mm(1時間)

さらに、土砂災害(土石流・地すべり)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険な箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

中頓別町 災害ハザードマップ⑧ 【知駒内川】

凡 例

避難場所種別マーク



指定緊急避難場所
洪水等の災害から命を守るために住民が緊急に避難する場所



指定避難所
災害の危険性があり、避難した住民が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により、自宅へ戻れなくなった住民が一時的に滞在することを目的とした施設



福祉避難所
障がい者などの要配慮者が安心して生活できる避難場所

災害対応種別マーク

避難場所がどの災害時に対応しているかを示しています



洪水



地震



土砂災害



雪害

給水所マーク



断水したときに水を配る場所

土砂災害(特別)警戒区域

がけ崩れ(急傾斜地崩壊) 特別警戒区域 警戒区域

土石流 特別警戒区域 警戒区域

地すべり 警戒区域

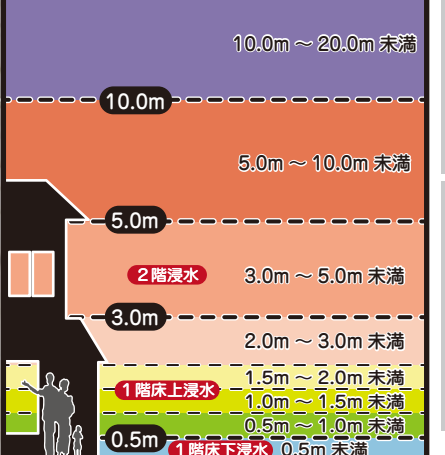
その他の項目

警察 消防 役場 病院 防災行政無線拡声局

国道 道道 町界線

中頓別町電気経路
中頓別F1
中頓別F2
小頓別F1

浸水深の目安



浜頓別町

中頓別町

中頓別町

土方の沢川

知駒内川

知駒内川

頓別川

頓別川

注意

- 浸水想定区域内の避難場所は、洪水時の状況によっては**二次避難**が必要になる場合があります。
- 実際の洪水時には、地図で表示されている以外の場所でも浸水したり、浸水区域が拡大したりする可能性がありますので十分注意し、**浸水が始まる前の避難**を心がけてください。



マイタイムラインを作しましょう

マイタイムラインとは

マイタイムラインとは、**風水害などの災害に対し、自分自身がとる行動を時間の流れに沿って整理したもの**をいいます。
いざというときに慌てないために、どのタイミングで何をすべきか該当するものにチェック ☒ しておきましょう。

ハザードマップで自宅の危険度を確認しておこう		家庭の状況について確認しておこう	
あなたの住んでいる地域は？ ☐ 洪水浸水想定区域 ☐ 土砂災害警戒区域	住んでいる場所の浸水深は？ [川、 m]	避難に支援が必要な人 (高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など) ☐ 無 ☐ 有	持病薬： ☐ 無 ☐ 有 ペット： ☐ 無 ☐ 有

警戒レベル		レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5	
情報収集	避難情報 (行政からの情報など)	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認 避難の準備 自主避難など注意の呼びかけ	危険な場所から 高齢者等は避難！ 高齢者等避難	危険な場所から全員避難！ 避難指示	命の危険 直ちに安全確保！ 緊急安全確保	
	大雨に関する情報	早期注意情報	大雨注意報	大雨警報		大雨特別警報	
	河川氾濫に関する情報		洪水注意報 氾濫注意情報	洪水警報 氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報	
	土砂災害に関する情報				土砂災害警戒情報		
わが家の行動計画		☐ 気象情報を確認する ☐ 避難手段・避難経路を確認する ☐ 非常持出品・備蓄品を確認する ☐ 家の点検・補強をする ☐ 停電や断水を想定した買い物をしておく ☐ 携帯電話を充電する ☐ 車にガソリンを入れる	☐ 浸水想定箇所を確認する ☐ 非常持出品に貴重品や常用している薬を入れておく ☐ 自宅のまわりの飛びそうなものを家の中へ片付ける ☐ 自宅の浸水するおそれのある場所に土嚢を置く	☐ 開設避難場所を確認する (町のホームページや防災メールなど) ☐ 備蓄品や貴重品等が水浸しないよう安全な場所に置く	☐ 避難開始 避難指示が出たときには 危険な場所から全員避難する！ ☐ 戸締り、火元の確認をする ☐ 隣近所（一人暮らしの高齢者）への声かけをする	避難完了 ❗ 屋外行動の禁止 ❗ 屋内の安全な場所への避難 ❗ 命を守る最善の行動をとる 逃げ遅れた場合の 命を守るための最善の行動を 記入しておきましょう	
		避難に支援を必要とする方 またそのご家族など同居している方	☐ 家族やケアマネージャーなど支援者を交えて 避難手段やタイミングなどを確認する		☐ 避難開始 避難に時間を要する方は、 危険な場所から避難する！	わが家の避難する場所	
		ペットとともに避難する方	☐ 避難手段・タイミングなどを確認する ☐ ペット用非常持出品、ケージを準備する ☐ 知人などの一時預け先に確認をする	☐ ペットをケージに入れて避難の準備をする	❗ 車避難の注意点 令和元年の台風 19 号では、車で避難中に道路の冠水や崩落で亡くなったケースが多くありました。車を活用した避難や要援護者の送迎については、早い段階で実施しましょう。 		
		安全な地域にいる家族や親戚宅等へ避難する方	☐ 避難をする相手先と連絡をとる ☐ 避難手段を確認する				
上記でチェック ☒ した項目以外で他に必要な事項があれば記入しておきましょう。							